

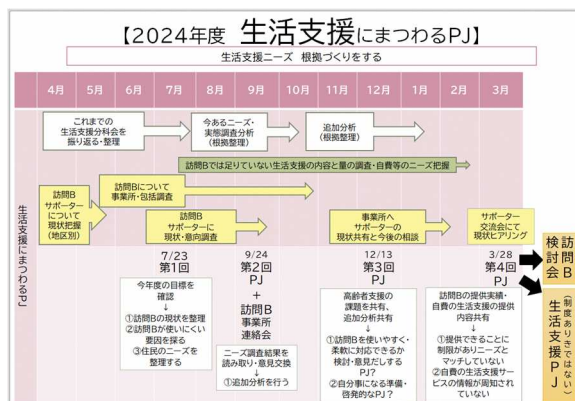
第1 回訪問 B(住民主体による訪問型サービス)検討会

実施日時:2025.5.27(火)

参加者:別紙参照(22 名)

1, 参加者紹介(自己紹介:名簿参照)

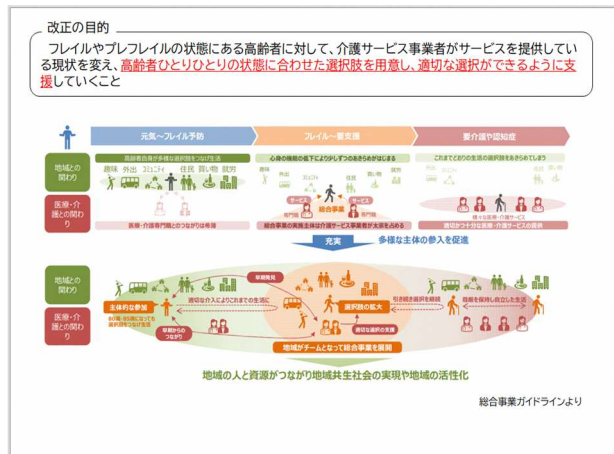
2, 検討会開始経緯説明(昨年度まると協議体生活支援プロジェクト振り返り)



昨年度の生活支援プロジェクトでは、訪問 B というサービスで行われる生活支援と、制度の狭間になり取り残されている方への生活支援の課題整理をしてきた。

今年度は、訪問 B(住民主体による訪問型サービス)の制度の見直しを含めて、どのようになると良いのか、検討・提言していく検討会チームを生活支援プロジェクトから切り離して別で行うこととなった。

3, 総合事業の考え方を踏まえた、訪問 B の現状とこれからについて (高齢支援課より 別紙参照)※以下資料からの抜粋



→総合事業について、令和6年度に改定があり、今まで以上に高齢者一人一人の状態に合わせた選択肢を用意し選択できるように多様な主体の参入を促進・地域がチームとなって総合事業を展開していきましょうという考え方が強く示された。

最終的に目指す姿

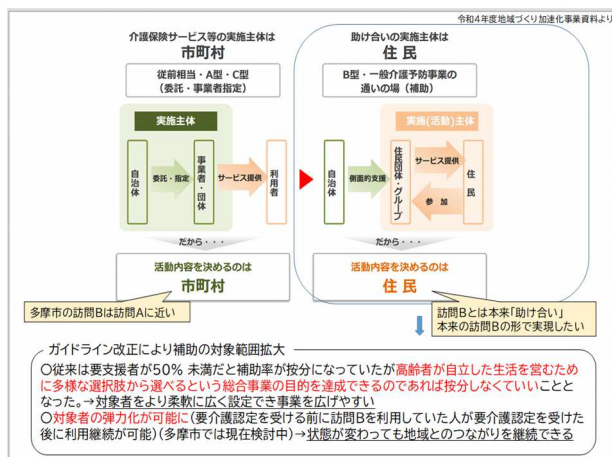
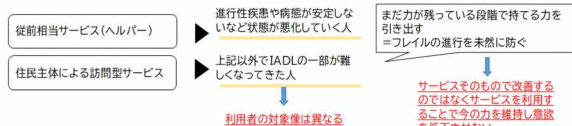
高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して住み続けられる(地域の人が助けに来てくれることで自分が地域の中で孤立していないという安心感が湧く=地域のつながりを深める)

事業の目的

有する能力に応じた柔軟な支援を付けていくことで**自分で選択し有する能力を最大に発揮すること(自立意識の向上)**につなげる
=自立を阻害するようなサービスの利用はNG

※要支援者に対して、「買い物や掃除など、本人ができないことはヘルパーさんにしてもらえば良い」という考え方は、一見、問題解決のように思えるが、高齢者が自分で体を動かさなくなってしまうのでかえって本人の自立を阻害し、状態を悪化させてしまう可能性がある

対象者のイメージ



3, 意見交換

○生活支援体制整備事業に関しては予算を使い切っていると聞いているが

→介護保険料を使っている事業なので、上限はあるが「予算を使い切っている」というわけではない

→訪問 B は今年度の予算はない 必要であれば検討する

○要支援 1.2 が訪問 B 対象となったものの、サービス提供している事業所にはあまり入っていないというのが実際。(R4、682 件で 324 万円予算を使っている)

○訪問 B を本当の意味での住民主体の活動にしていくことは理想的だが、実際には立ち上げも継続も難しい。(現状4件)訪問 B となると包括がプラン作成していくことを考えるとどのように支援できるといいのかとを感じる。立ち上がらない地域については、使えないサービスになり地域差が出てしまうのではないか。他の地域はどう整理しているのか。

→改正により、対象者が緩和されているので、広い活動への支援という形にはできる。

→圏域ごとの特徴を聞いて、どのような形なら広まるのか検討したい

→一部の地域しか使えない形にはならないように、形作りたい

→補助金だけではない立ち上げ支援というのも考える必要はある

○自治会とは別に有志で活動されている方々もいる。その辺も支援できるといい。

○事業開始当初に住民に理想の訪問 B を提案しても難しかったと思う。今の形から広げる形で検討できるとよいと感じた。

○企業としてはその企業の専門性を発揮しつつ、制度や地域のことを知っておいてつなげることはしていきたい。

○使う側の住民や遠方の家族から「近所の人に来てほしくない」という意見も多い。選択できるようになっているといい。

○今の訪問 B や社協の助け合いのような第三者(公的なもの)が介在している安心感は地域からの声としても聞く。

○地域差も出てくることを踏まえると、今の訪問 B を訪問 A にして広がりを検討しつつ、目指す形の訪問 B と2本立てで検討してはどうか。

○訪問 A に近い B、目指す B が結局合流するのであれば、分けて考えないほうがいいのか。

○今回の改定で対象者は、拡大したという認識であっているか。

→あっている。助け合いの促進を阻害しないようにという趣旨。

○住民主体といった時は、学生や住んでいない人でもいいのか

→今後検討していく。多摩市の地域性・特徴を活かした形で検討していけるといい。

※介護保険全体の全体像と給付実績について追加説明

※使う側への啓発は必要 → 新しく啓発へのプロジェクトを検討しているのでそちらへ

【本日のまとめ】

当面、「訪問 A(B)に近い訪問 B(A)?」と「住民主体による訪問 B」の2つを検討する。

次回 7 月 15 日 中央図書館 2 階